

日水電気化学工業株式会社

平成 25 年度 補正予算事業

クロム酸メッキ工程の生産性向上と受注獲得に向けた自動メッキラインの導入

22年前に導入した自動メッキ装置の老朽化により、受注増に対応できないばかりか、正常時の2.5倍の稼働がかかることで人件費がかさみ、利益を圧迫している。最新の自動メッキラインを導入することにより、生産性の向上とさらなる受注に対応できるようにする。



ハサミ自動メッキライン

事業のきっかけと目的

Motivation

安定受注しているハサミのメッキ処理の案件は、自動メッキ処理装置が老朽化し、不良率が悪化している。メッキ処理後のふき取り機能が低下し、通常1人で行う工程を2.5人分の人手をかけて行っている。装置を更新し、人員削減と最大150万円/月の収益増加、金額ベースで年間1,800万円の受注拡大を目指す。また、有害ガス吸引の危険性を減らし、作業環境の改善を図る。

事業の取り組み内容と成果

Progress

自動メッキラインを導入した結果、処理能力が向上し、生産量が増加した。品質も格段にアップし、検査時間の短縮にもつながった。旧型の装置では様々な故障が発生し、不良率が20%という異常値に達していたが、新装置導入後の不良率は1%未満に減少。また、局所排気装置の吸入口を1箇所から小口の8箇所に増やした結果、吸入効率が高まり、作業環境が改善された。

日水電気化学工業株式会社の思い



『メッキ』は日本の『ものづくり』にとってなくてはならない基盤となる技術であり、さまざまな産業分野で表面処理での貢献による共栄が重要です。お客さまの技術によって創り出された製品が当社の『表面処理』という付加価値により更なる評価へつながることこそ、当社の目指すところです。



製品取り外し



顕微鏡検査



最終検査

事業化に向けての今後の取り組み

Future

最新の自動メッキラインを導入したことにより、生産性向上、不良率の低減、作業環境の改善など成果は多岐に及んだ。今後、大口の取引先に対し、不良率を劇的に引き下げることで受注量の拡大が期待できる。また、生産性向上を通して生産能力の拡大を実現することで機会損失案件の取り込み及び新規開拓で売上げが期待できる。



企業の生い立ち

68年前に住宅地の下荒田で小さな工場を始めた。

創業時には予測もつかなかった住宅地での環境問題や公害問題、これらを真摯に受け止め、36年前に現在の工業団地に工場移転を決断した。

工業団地に移転してからは本格的なメッキ工場として活動している。



事業者 日水電気化学工業株式会社
代表者 代表取締役 船倉 康弘
設立年月日 昭和23年1月21日
所在地等 〒891-0132
鹿児島市七ツ島一丁目4番3号
TEL 099-261-8155
FAX 099-261-4109
E-mail nissuidenki@m7.dion.ne.jp

事業の種類 ものづくり技術
資本金額 1,000万円
従業員 27名
業 種 金属部品表面処理業